

洋風タンク密結便器

取扱説明書 保証書付き



もくじ

安全上のご注意……………	1
各部のなまえ……………	7

はじめに

ご使用上の注意……………	8
ご使用方法……………	9

使いかた

お手入れ方法……………	10
-------------	----

お手入れ

修理を依頼される前に……………	17
こんなときは……………	20
アフターサービスについて…	28
別売品のご案内……………	30

必要なときに

保証書……………	31
----------	----

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

お読みになったあともすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

取扱説明書でご案内するWEB・動画の閲覧について

※1 通信料はお客様さまでご負担となります。 ※2 お使いの環境/端末により閲覧できない場合があります。

保証書に、お買い求めの取扱店名・取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

便座に関する内容は、便座に同梱の説明書に記載しておりますので、この説明書とあわせてよくお読みください。

必ずお読みください /

安全上のご注意

守って安全に



この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明



警告

死亡または重傷を負うおそれがある内容です。



注意

障害や物的損害※が発生するおそれがある内容です。



禁止

してはいけない「禁止」の記号です。



指示実行

必ず実行していただく「指示実行」の記号です。

※ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

警告



水場使用禁止

【100V 電源使用の場合】
バスルームなど湿気の多い場所には設置しない。
(感電・火災の原因)



火気禁止

ストーブやヒーター、タバコ、灰皿などの火気類
を近づけない。
(破損してケガをするおそれ)
(変色・故障・火災の原因)



禁止

電源コードに次のことをしない。

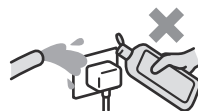
- ・キズを付ける
 - ・無理に曲げる
 - ・束ねる
 - ・加工する
 - ・ねじる
 - ・挟み込む
 - ・破損する
 - ・引っ張る
 - ・重いものを載せる
- (破損・感電・火災の原因)



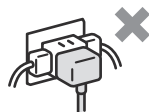
電源プラグに濡れた手で触れない。
(感電の原因)



電源プラグに水や洗剤をかけない。
(感電・火災の原因)



タコ足配線などでコンセントや配線器具の定格を
超える使いかたをしない。
(火災の原因)



雷が発生しているときは電源プラグに触れない。
(感電の原因)



給水ホースと電源プラグ、コンセントを接触させない。
(感電・火災の原因)



警告



指示実行

電源プラグをお手入れの際は、必ずコンセントから抜く。

(感電の原因)



電源プラグを抜き差しする場合は、電源プラグ本体を持つ。

(破損・感電・火災の原因)



電源プラグは根元まで差し込む。

(感電・火災の原因)



電源プラグは定期的に乾いた布でホコリを拭き取る。

(火災の原因)



コンセントは次のものを使用する。

- ・アースターミナル付接地極付
- ・ガタつきがない

(感電・火災の原因)



アース線のある機器と組み合わせる場合は、アース線をコンセントのアースターミナルに接続する。

(感電・火災の原因)



AC100V で使用する。

(火災の原因)



漏水を確認した場合、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を閉める。▶ P.22

(感電・火災の原因)

(漏水し、室内浸水のおそれ)



⚠ 注意



分解禁止

記載内容以外の分解・改造は行わない。

(破損してケガをするおそれ)

(漏水し、室内浸水のおそれ)



禁止

便フタや便座、ロータンクの上に乗らない。

(破損してケガをするおそれ)



給水ホースを折り曲げたりつぶしたり、キズをつけたりしない。

(漏水し、室内浸水のおそれ)



プラスチック類の掃除には、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤を使用しない。▶ P.12

(破損してケガをするおそれ)

(漏水し、室内浸水のおそれ)



ロータンクや便器にもたれたり、強い衝撃を与えたりしない。

(破損してケガをするおそれ)

(漏水し、室内浸水のおそれ)



便フタおよび便座の開閉は静かに行き、衝撃を加えない。

(破損してケガをするおそれ)



便器には、汚物、トイレットペーパー以外のものは流さない。

誤って落とした場合は、水を流す前に拾う。

(配管の詰まりにより、汚水があふれて室内浸水のおそれ)



ロータンク内にビンやレンガ、芳香洗浄剤や薬品などの異物を入れない。

(止水・吐水不良、故障の原因)

(洗浄不良・汚水があふれて室内浸水のおそれ)



芳香洗浄剤など

⚠ 注意



禁止

便器や手洗い鉢の中に熱湯をそそがない。

(破損してケガをするおそれ)
(漏水し、室内浸水のおそれ)



重量物や先のとがったものを置いたり、落としたりしない。

(破損してケガをするおそれ)



手洗鉢に飾り物や芳香洗浄剤などを置かない。

(飛沫、止水・吐水不良、故障の原因)



手洗金具に水をかけない。

(漏水し、室内浸水のおそれ)



手洗鉢にトイレットペーパーやゴミを流さない。

また、手洗鉢で雑巾やモップを洗わない。

(止水・吐水不良の原因)



手洗鉢では石けん類を使用しない。

(漏水し、室内浸水のおそれ)
(止水・吐水不良、洗浄不良の原因)



陶器にヒビが入ったり、割れたりしたら破損部

は絶対に触らず、交換を依頼する。

(ケガをするおそれ)



指示実行

水道水および飲用可能な井戸水に接続する。

(腐食・感電・火災・皮膚の炎症の原因)

飲用可能な井戸水でも水アカの付着、腐食等の発生で、修理が必要な故障が起きやすくなる場合がありますので定期的なメンテナンスが必要です。また、井戸水は環境によって変化しますので、定期的な水質検査や水質改善設備の維持管理などが必要です。

新築・改修工事後や、水道断水の復旧後、または水抜後に再び使用する場合は、配管内の空気を抜く。

(器具・配管が破損してケガをするおそれや故障の原因)
(漏水し、室内浸水のおそれ)



⚠ 注意



指示実行

長期間使用しない場合は、万一の故障のために止水栓を閉めてロータンク内の水を抜き、電源プラグを抜く。▶P.27

(漏水し、室内浸水のおそれ)



凍結のおそれがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。

▶P.24

(漏水し、室内浸水のおそれ)



ストレーナを外すときは、止水栓を閉めてロータンク内の水を抜く。▶P.22

(漏水し、室内浸水のおそれ)



万一詰まった場合には、市販のトイレ用吸引器（ラバーカップなど）を使って取り除く。▶P.20

(漏水し、室内浸水のおそれ)



床に落ちた小便、水滴、洗剤、水などはよく絞った雑巾でふき取る。▶P.13

(放置による床のシミ・腐食のおそれ)



便器やロータンクの表面が結露した場合、乾いた布でふき取る。また、換気扇を回したり、窓を開けたり換気を十分に行う。▶P.8

(放置による床のシミ・腐食のおそれ)



便器の溜水面が低下していないことを確認する。
(封水切れにより有毒ガスが上り、設備・器機が腐食する物的損害のおそれ) ▶P.21



給水ホースの接続は確実に。▶P.16

(漏水し、室内浸水のおそれ)



手洗付の場合、ロータンクフタ、手洗接続管を外した際は、元の接続状態に戻す。▶P.24

また、ロータンクフタを外したまま使用しない。

(漏水し、室内浸水のおそれ)



小さなお子様やお年寄り、身体の不自由な方が使用するときは、十分に注意する。

(転倒などにより破損してケガをするおそれ)

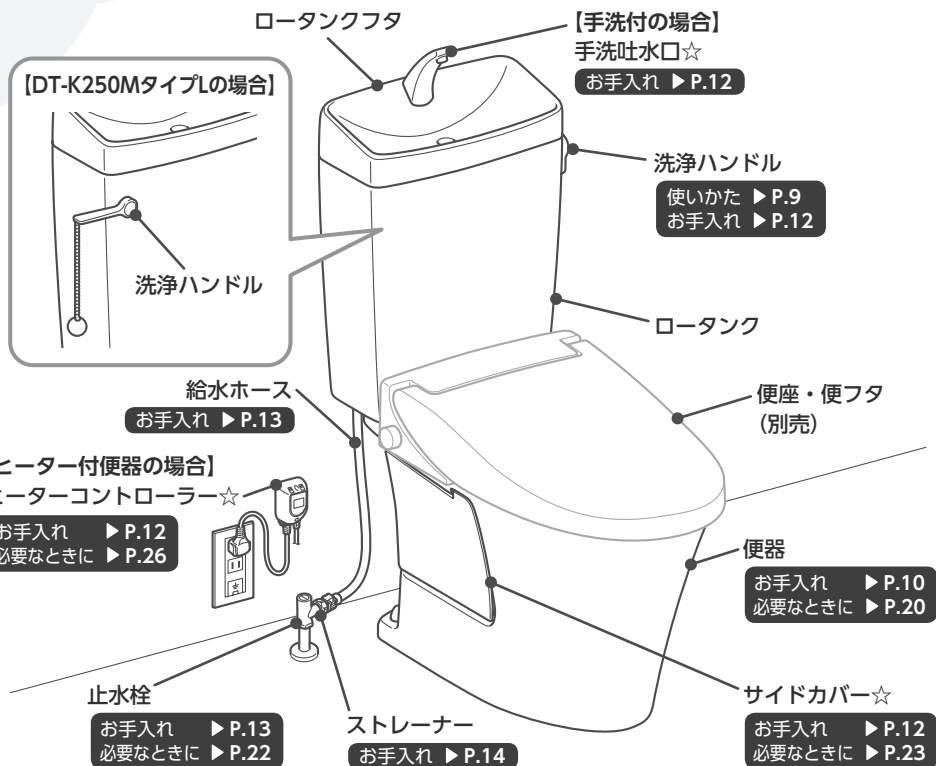


各部のなまえ



全体図

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



【流動方式の場合】

必要なときに ▶ P.24

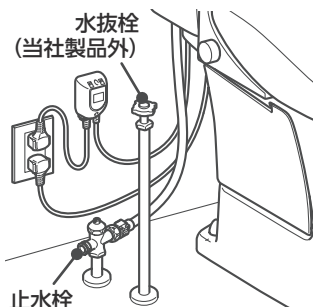
流動ダイヤル

【水抜方式の場合】

必要なときに ▶ P.25

水抜ダイヤル

水抜栓
（当社製品外）



必ずお読みください／

ご使用上の注意

知っておいて
くださいね！



トイレ全体について

- 直射日光が当たらないようにしてください。

※プラスチック類（便座・便フタ等）が変色や変形するおそれがあります。



- 室温と便器・ロータンク・止水栓・給水ホースなどの表面温度差や湿度によって表面に結露が生じることがあります。結露水を乾いた布でふき取り、換気を十分にしてください。

※放っておくとシミ、腐食のおそれがあります。

※防露便器、防露タンクの場合は結露しにくい構造になっています。



洗浄について

- 汚物の大きさ、量、比重の違いやトイレットペーパーの量、種類によっては、1回の洗浄で完全に流しきれずに残ることがあります。

- 大洗浄で1度に流すトイレットペーパーの量は5m程度、小洗浄で2m程度を目安にしてください。

※JISの規格を参考にした量

- 水を流してから間をおかずに2回目流すとうまく流れない場合があります。必ずロータンク内が満水になってから流してください。

- 比重の大きい汚物が1度では流しきれない場合、樹脂製のトイレブラシなどで汚物を細かくしたあとトイレットペーパーと一緒に流してください。

- トイレットペーパーを多く流すと、溜水が少なくなる場合があります。再度水を流して便器に水を溜めてください。

※溜水が少ないと、便器鉢内の汚れや排水不良、臭気の原因になります。

- 小用でも使用後は必ず水を流してください。

※小便と水道水の成分が凝固し、洗浄不良や詰まりの原因となります。

- 洗浄水量（1回の便器洗浄で使用する水量）は、0.2MPa（流動時）の場合のものです（一部商品を除く）。

※洗浄水量は現場水圧条件や施工条件等により変動することがあります。

その他

- 水を流しても汚物が容易に落ちないときは、樹脂性のトイレブラシ等で掃除してください。

▶P.10

- 他社製の温水洗浄便座から泡が噴出するタイプをご使用の場合は、温水洗浄便座のご使用方法に従ってください。

※1回の洗浄でペーパーを流し切れずに残る場合があります。

使
い
か
た

＼ 正しく使用しよう！ ／

ご使用方法

正しく使用することでトイレをきれいに安全にご使用いただけます。

次の手順にしたがって正しく安全にご使用ください。

必ず便座の取扱説明書もあわせて見てね！



トイレの使いかた

1 便フタを上げ、便座に腰掛けます。



MEMO

- 立って小便をすると、便器外へ小便が跳ねる場合があります。



男性も座ると小便の跳ねが抑えられます。

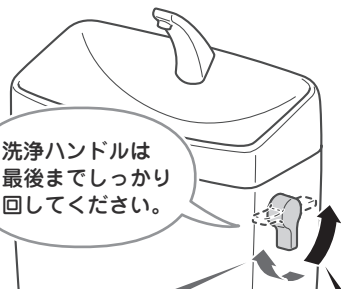
2 使用後、洗浄ハンドルを回して水を流します。



お願い

- 洗浄ハンドルを強く引いたり押ししたりしないでください。破損するおそれがあります。

洗浄ハンドルは最後までしっかり回してください。



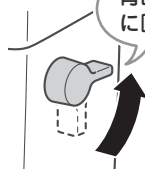
小洗浄

手前側に回す



大洗浄

背面側に回す



／ キレイに使うために！／

お手入れ方法

汚れは放っておくと取れなくなることがあります。
きれいを保つために日頃からこまめにお手入れをしてください。

おすすめのメンテナンス用品

(別売品)もあるよ！ ▶ P.30



KILAMIC 抗菌商品について

- 商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜などが表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- 商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染などが防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格 SIAA に適合した製品です。経済産業省と抗菌製品技術協議会 (SIAA) の推進によって抗菌 JIS 規格 (JISZ2801) から ISO 規格 (ISO22196) になりました。

アクアセラミックについて

親水性が高く、鉢面に付着した汚物や汚れが落ちやすいですが、お掃除が不要になるものではありません。また、汚れが残っていたり、汚物の状態によっては落ちづらい場合があります。

定期的なお掃除をお願いします。

MEMO

- ・品番の先頭に「Y」が付いています。
(例)
ロータンク品番: YDT-XXXX
(手洗付の場合のみ)
便器品番: YBC-XXXX

お手入れ

便器のお手入れ (陶器部)

おすすめの別売品



お掃除ブラシ

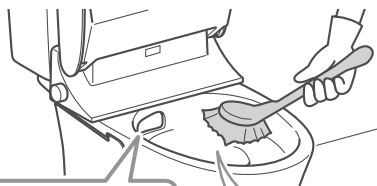
▶ P.30

ホームページで
確認できるよ！



軽い汚れ

- 1 掃除用スポンジや樹脂性のトイレブラシで水洗いします。



水洗いでお掃除

吐水口



歯ブラシや小さめの
ブラシでお掃除

※イラストはフチレス便器の場合

水あかなどひどい汚れ

お願い

- 洗剤によっては揮発ガスを発生するものがありますので、早め（5分以内）に終わらせてください。揮発ガスがシャワートイレ便座などの内部に入り、故障の原因になります。

1 樹脂製のトイレブラシや掃除用スポンジにトイレ用洗剤または中性洗剤を染み込ませます。

2 汚れを取ります。

3 水またはぬるま湯で流します。



熱湯を使用しない。
(破損してケガをするおそれ)



洗剤を使用する場合は換気をし、使用後は便フタ・便座を開けておく。
(体調不良のおそれ)



お願い

- 便器の洗剤がプラスチック類にかからないようにしてください。プラスチック類に付いた場合は故障の原因となりますので水拭きしてください。
- 陶器（便器等）の掃除には、以下のものは使用しないでください。



酸性、塩素系の洗剤や消毒剤



強いアルカリ性の洗剤、漂白剤



研磨材入りの洗剤



フッ素系洗剤（フッ化水素、フッ化アンモニウムを含む）



撥水、表面コート作用のある洗剤やお掃除道具※



金属製や研磨材入りのブラシのように、表面を傷つけるお掃除道具

※成分が陶器表面を覆ってしまい、防汚性能が十分発揮できなくなります。使用してしまった場合は、中性洗剤やメラミンスポンジで除去することで効果を復元できます。

プラスチック類のお手入れ

ホームページで
確認できるよ！



おすすめの別売品



トイレ用
お掃除ティッシュ

▶ P.30



シャワートイレ
お掃除クリーナー

▶ P.30

軽い汚れ

- 濡らした柔らかい布をよく絞って汚れをふき取ります。

ひどい汚れ

- 適量に薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきをします。

電源プラグの汚れ

- 濡らした柔らかい布をよく絞って汚れをふき取ったあと、必ず乾いた布で水気をふき取ります。

吐水口

➡がプラスチック類の部品です

洗浄
ハンドル

ヒーター
コントローラー

柔らかい布を
使ってね

サイドカバー

※ロータンクとロータンクフタも
プラスチック製の場合があります。
※便座・便フタについては、便座の
取扱説明書をご参照ください。

お
手
入
れ

電源プラグをお手入れの際は、必ずコンセントから抜く。
(感電の原因)



指示実行

電源プラグに濡れた手で触らない。
(感電の原因)



禁止

電源プラグに水や洗剤を
かけない。
(感電・火災の原因)



禁止



警告



最後は必ず
からぶき

プラスチック類の掃除には、以下のものは使用しない。
(表面を傷つけたり、破損してケガをするおそれ)

- ・トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤
- ・酸性、アルカリ性、および塩素系の洗剤
- ・シンナー、ベンジン、アルコール等の溶剤やクレゾール等の消毒液
- ・クレンザー、磨き粉
- ・金属ブラシ、研磨剤入りのナイロンたわし、紙やすり
- ・乾いた布、トイレットペーパー（電源プラグ以外の場合）
- ・熱湯



禁止



注意

止水栓のお手入れ（メッキ部）

- 1 乾いた柔らかい布でふき取ります。

MEMO

- ・落ちない場合は水ぶきしたあとに、からぶきしてください。
- ・月に一度程度、潤滑防腐剤（ミシン油、カーワックス等）を染み込ませた布でふくと、輝きを保てます。

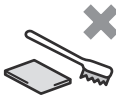


お願い

- メッキ部に酸性の洗剤が付着した場合は、メッキを侵す原因となりますので十分水洗いしてください。
- 以下のものは表面を傷つける原因となりますので使用しないでください。



クレンザー、磨き粉等の粒子の粗い洗剤



ナイロンたわし、ブラシ等



酸性洗剤



塩素系漂白剤



シンナー、ベンジン等の溶剤

床のお手入れ

- 1 よく絞った雑巾でふき取ります。



注意

床に落ちた小便、水滴、洗剤、水などはよく絞った雑巾でふき取る。
(放置による床のシミ・腐食のおそれ)



指示実行

MEMO

- ・便器周りをすっきりするための方法として、給水ホースの取回し方法を動画で確認いただけます。



ストレーナーのお手入れ

動画で確認
できるよ！



MEMO

- ロータンクへの給水時間が長くなった場合は、ストレーナーのゴミ詰まりが原因と思われます。ストレーナーのゴミを取り除いてください。

使用工具



マイナス
ドライバー



モンキーレンチ

分岐金具なし 1本

分岐金具付 2本

※給水ホース接続部は、「クイックファスナー」と「袋ナット」の2種類があります。

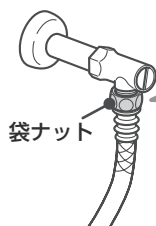
【クイックファスナー式の場合】



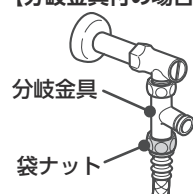
【分岐金具付の場合】



【袋ナットの場合】



【分岐金具付の場合】



1 止水栓を閉めます。▶P.22

2 洗浄ハンドルを回して水を流します。▶P.9

【クイックファスナーの場合】のみ行います

3 クイックファスナーをマイナスドライバーで外し、給水ホースをソケットから外します。

MEMO

- 給水ホース内の水を雑巾などで受けてください。

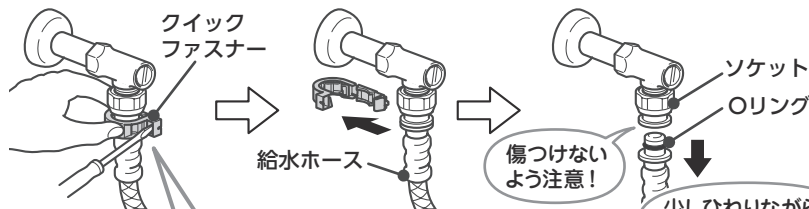


注意

○リング、給水ホースを傷つけないこと。
(漏水し、室内浸水のおそれ)



指示実行



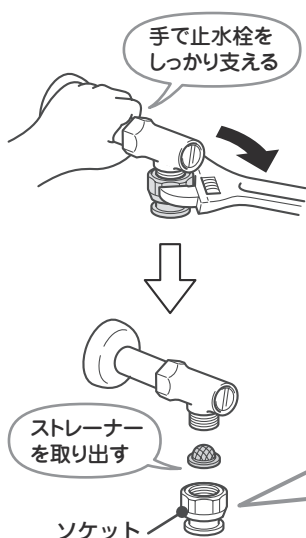
①すき間にマイナスドライバーを差し込む。

②矢印の方向に押す。

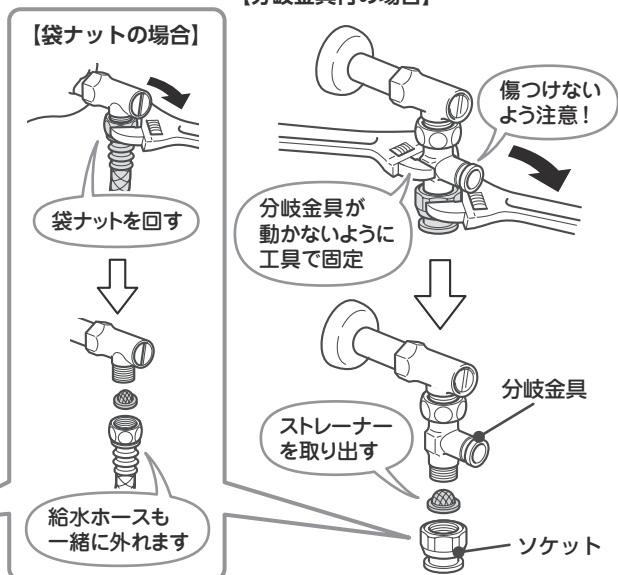
③そのまま前に押し込み、ツメを外す。

4 ソケットまたは袋ナットをモンキーレンチで外し、ストレーナーを取り出します。

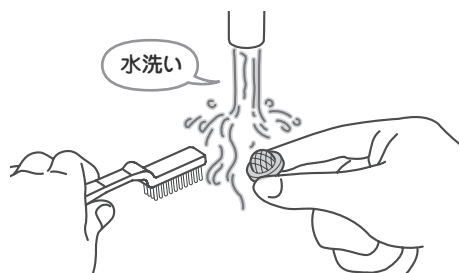
【分岐金具なしの場合】



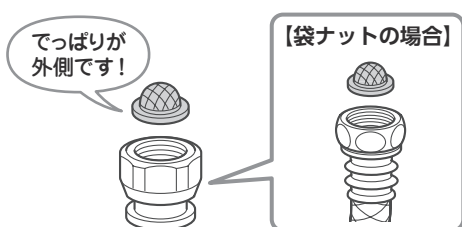
【分岐金具付の場合】



5 ストレーナーを水洗いしてゴミを取り除きます。



6 ストレーナーを位置と向きに注意して、ソケットまたは袋ナットに取り付けます。



7 ソケットまたは袋ナットをモンキーレンチで止水栓にしっかりと締め付けます。

【分岐金具なしの場合】



【袋ナットの場合】



【分岐金具付の場合】



【クイックファスナーの場合】のみ行います

8 給水ホースをソケットに差し込み、クイックファスナーを差し込みます。

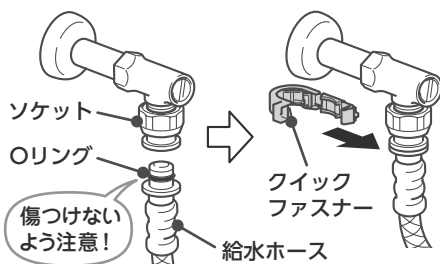


注意

- リング、給水ホースを傷つけないこと。
(漏水し、室内浸水のおそれ)
- リングにゴミが付着していないことを確認する
(漏水し、室内浸水のおそれ)



指示実行



お手入れ

【クイックファスナーの場合】のみ行います

9 クイックファスナーを取り付け、給水ホースとソケットを確実に固定します。

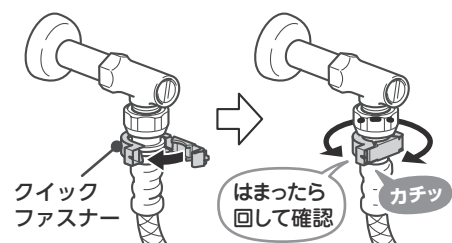


注意

- クイックファスナーの先端がカチッと音がするまではめ込む。
- 取付後にクイックファスナーを回し、確実にハマっていることを確認する。
(漏水し、室内浸水のおそれ)



指示実行



10 止水栓をマイナスドライバーで反時計回りに止まるまで回して全開にし、約 1/4 回転程度戻します。▶ P.22



注意

- 接続部から漏水していないことを確認する。
(漏水し、室内浸水のおそれ)



指示実行

故障かなと思ったら /

修理を依頼される前に

まずは
チェック!



簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。
保証期間内でも有料になることがありますので、下記項目や保証書の記載内容をよくご確認ください。

現象	原因	処置	参照
便器が詰まった	市販のトイレ用吸器（商品名：ラバーカップなど）を使用し、詰まりを取り除きます。		▶ P.6 ▶ P.20
バリウムが流れない	比重の大きい汚物（バリウムなど含む）は1度では流しきれない場合があります。	便器鉢内に残ったバリウムおよび汚物を樹脂製のトイレブラシなどで細かくしたあとトイレトーパーと一緒に流してください。	▶ P.8
細かい汚物が残る	便の状態（下痢便など柔らかい軽い汚物など）によってはまれにですが、1度では流しきれない場合があります。	もう一度流してください。	—
水の流れが悪いまたは、汚物がよく残る	ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をしてください。	▶ P.14
	トイレトーパーを多めに流していませんか。	小用で紙をたくさん使用した場合（目安 2m 以上）、小洗浄で使用されますと紙が流れない場合がありますので、大洗浄の方でご利用ください。	▶ P.8
		1度に流すトイレトーパーの量は、大洗浄では 5m 程度を目安にしてください。	▶ P.8
洗えていない場所がある	鉢外への洗浄水飛び出し防止のため、鉢内の立ち面の一部は洗えない範囲があります。洗浄の様子は動画をご確認ください。	トイレブラシ・スポンジ、トイレ用掃除ティッシュなどでお手入れしてください。	 洗浄の様子
水を流した時に洗浄した水が跳ねる	便器は勢いよく水を流し、汚物を排出する必要があります。そのため水と水がぶつかり水が跳ねる場合があります。		—
小便が跳ね返る	【立ってする場合】 小便が跳ねて外へ飛散し、床や壁を汚すことがあります。 【座ってする場合】 座る位置や小便をする方向によっては、跳ね返ることがあります。	【立ってする場合】 溜水面の中央をねらったほうが小便跳ねを軽減できます。また、座ってご利用いただければ、より小便跳ねは軽減できます。 【座ってする場合】 座る位置をずらすか、トイレトーパーを敷いていただければ、跳ね返りは軽減できます。	—
使用時に水が跳ね返る（おつり）	便器鉢内に溜水があることが原因ですが、下水からの臭気を遮断したり、汚物の付着を防ぐための大切な役割があるため構造上避けられない現象です。	あらかじめ、トイレトーパーを浮かせてご利用いただくと軽減できます。	—
便器鉢内にジェル状の洗浄剤をつけたら、水を流した時に水が跳ねたり流れが悪くなった。	水の流れが正常な状態から変わってしまっているためです。	ジェル状の洗浄剤を取り除いてください。	—
大洗浄と小洗浄の洗浄水量に差がないように感じる	故障ではありません。大洗浄と小洗浄では洗浄水が約 1L ～ 2L 異なりますが、この水量差を見た目で区別することは非常に困難です。また、大洗浄と小洗浄の洗浄時間にも大差ありません。そのままご利用ください。		—

便器洗浄（水・汚物の流れ）について

必要なときに

現象	原因	処置	参照
溜水面が低い	溜水面の状態を確認し、2～3度水を流しても正常な状態にならない場合はお求めの取扱店へご相談ください。		▶ P.21 ▶ P.28
便器の水面の大きさが小さい	サイホン式や洗い落とし式といった便器の種類によって水面の大きさが異なります。		—
便器底面に照明の反射光が映る	照明が便器に反射し、底面に模様のようなものが映ることがあります。	照明器具を消してご確認ください。	—
便器鉢内にピンク色の汚れがある	空気中のバクテリアが、便器鉢内に付着した汚れを栄養に繁殖したものです。	中性洗剤を使用して掃除してください。 繁殖しやすいためこまめなお手入れをおすすめします。	—
便器鉢内に黒い粗状の付着物ができる	給水管のサビが洗浄時に流れて便器鉢内に付着したものです。	トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、数時間程度付着した部分にあてて放置したあと、布でふき取ってください。 その後、中性洗剤で洗い流してください。 ※洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。	—
便器鉢内に赤いサビの付着物がある			
水を流した際に、便器鉢内に黒い異物が流れてくる	使用環境等の要因でロータック内に繁殖したカビがはがれ落ちて流れたものです。	トイレ内が多湿にならないよう換気してください。 ロータック内の清掃は、LIXIL 修理受付センターへご相談ください。	▶ P.29
便器を掃除していたらスジ状の金属キズがついた（メタルマーク）	便器よりも金属が柔らかいためスジ状の線がつくことがあります。	市販のメラミンスポンジに十分に水を含ませ、こすり洗いをして除去してください。 メタルマークの除去方法は動画でご確認いただけます。 それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1時間程度付着した部分にあてて放置したあと、布でふき取ってください。 その後、中性洗剤で洗い流してください。 ※洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま、十分に換気をした状態で行ってください。	 メタルマーク 除去方法
汚物が付着して取れない	●幼児や児童等の身長が低い方がご使用になると、座る位置が浅くなり、溜水面の外側に汚物が落ちて付着することがあります。 ●便の状態や粘性により、便器鉢内の乾燥面だけでなく、溜水内にも汚物が付着することがまれにあります。 便器の洗浄水だけでは洗いきれない場合があります。	樹脂製のトイレブラシなどで掃除してください。	▶ P.10

	現象	原因	処置	参照
漏れている、止水しない、給水しない	ロータンクへの給水時間が長い	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。	▶ P.22
		ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をしてください。	▶ P.14
	便器鉢内に水がチョロチョロと流れ続ける(水が止まらない)	【流動方式、水抜方式の場合】流動ダイヤル、水抜ダイヤルが開いていませんか。	流動ダイヤル、水抜ダイヤルを回して通常状態にします。	▶ P.24
		水を流してから 5 分以内に水が止まるようでしたら、故障ではありません。便器の溜水を確保するための補給水です。		—
	床が濡れている(便器表面や止水栓は濡れていない)	尿が便器を伝って床に垂れた可能性があります。	よく絞ったぞうきんで床をふいてしばらく様子をみてください。	—
	手洗い水が少ない	止水栓が十分開いていますか。	止水栓をマイナスドライバー等で左に回して全開にし、1/4 回転程度戻します。	▶ P.22
		ストレーナーが目詰まりしていませんか。	ストレーナーの掃除をします。	▶ P.14
音がする	水を流すと「ゴボゴボ」と音がする	汚物を便器から排出する際に、空気も同時に巻き込むためゴボゴボと音が発生します。	ゴボゴボと音が 2 秒以上続く場合は、通気管等を設置することで軽減できる場合があります。工事された業者さまへご相談ください。	—
	水を流す音がうるさい	故障ではありません。便器の機種によって洗浄方式が異なり、一般的にサイホン現象が発生する便器は、他の洗浄方式の便器よりも大きな洗浄音があります。		—
	ロータンクへ給水中に、ロータンクから「コツコツ」と音がする。	故障ではありません。水抜操作や連続洗浄をしたり、洗浄ハンドルを長時間回した状態で保持すると、ロータンク内の水位が通常より低下します。その際、ロータンク内の浮玉がロータンク内部に接触し、音が発生する場合があります。ご使用方法に沿ってご使用ください。		▶ P.9
	水を流した後に床下の排水管から「ポタポタ」と音がする	故障ではありません。便器の排水が床下にある排水管に落下する音です。		—
	水を流した後にロータンク内から「ゴトツ」という音がする	故障ではありません。水を流し終わった際にロータンク内で発生する音です。		—
	便器洗浄後に「ドン」と音がする	給水止水時に配管内でウォーターハンマー（水撃作用）が発生している可能性があります。	止水栓をマイナスドライバーなどで右に回し、流量を絞ってください。ただし、絞り過ぎると手洗いに支障が出るため、適度に調整してください。	▶ P.22
	寒冷地仕様水抜方式の場合、ロータンク内から「ドドド」という音がする	故障ではありません。ロータンクへの給水を止めていない状態で、水抜ダイヤルに触れたり、操作すると音が発生する場合があります。	水抜ダイヤルを反時計回りに空回りするまで回してください。	▶ P.26
その他	ロータンクまたは便器下部に水滴が付いている	湿度が高く結露した可能性があります。	こまめにふき取ってください。また、換気を十分にしてください。	▶ P.8
	便器の吐水口の奥に水が溜まる	故障ではありません。構造上、目視できる場所に水が溜まる場合があります。		—
	手洗い水が割れている	手洗い吐水口穴に空気が溜まり、割れている可能性があります。	吐水口穴を使い古した歯ブラシ等で掃除し、空気を取り除いてください。	—
	洗浄ハンドルが最後に戻るときに、一旦止まってから元の位置に戻る	故障ではありません。洗浄ハンドルが内部部品に連動することで起きる動きです。		—

必要なときに /

こんなときは



もしものときも
これで安心ね

動画で確認
できるよ!



便器が詰まったとき

使用道具



外径130mm程度
が最適

市販のトイレ用吸引器
(商品名: ラバーカップなど)

1

止水栓を閉めます。

2

飛散防止のため、ビニールシートで
便器を覆います。

3

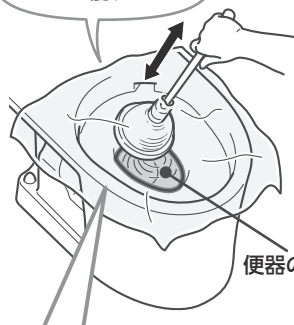
ラバーカップを便器の排水口をふさ
ぐようにして、ゆっくりと押し込ん
で密着させ、一気に手前に引き上げ
ます。



お願い

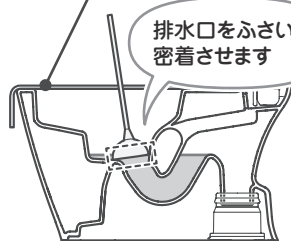
- 便器内の水位が高いときは、手動ポンプ
などで便器の上面から 10 cm 以上下げて
ください。
ラバーカップを押し込む際に汚水が便器
からあふれることがあります。
- 便器内の水が引いていたら、バケツで水
を入れてから作業をしてください。
ラバーカップは水がないと効果がありません。

飛散防止にビニール
シートで覆う



便器の排水口

ビニールシートなど



排水口をふさいで
密着させます

必要なときに

4

排水が引き込まれるまでこれを数回
繰り返します。

5

バケツでゆっくり水を流し、詰まっ
ていないか確認します。



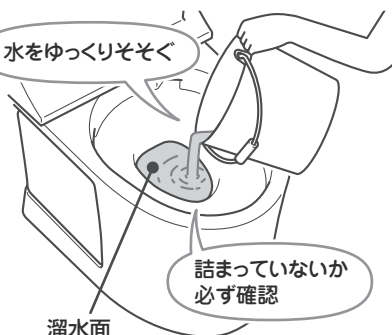
注意

詰まった状態では、洗浄
ハンドルで水を流さない。
(漏水し、室内浸水のおそれ)



禁止

水をゆっくりそそぐ



詰まっていないか
必ず確認

溜水面

便器の溜水面が低下したとき

溜水面が低いと便器に汚物が付着したり、封水切れによる有毒ガスや臭気の上り、昆虫などの侵入が起こるおそれがあります。

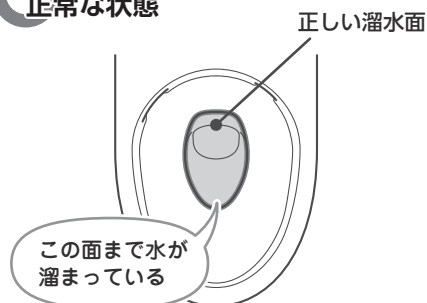
溜水面が低下していると感じた際は、以下の手順で確認をしてください。

封水切れが発生すると...

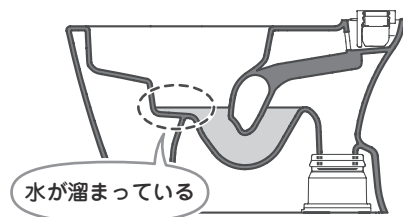


1 バケツなどで徐々に水を足して、溜水面が正常な状態か確認します。

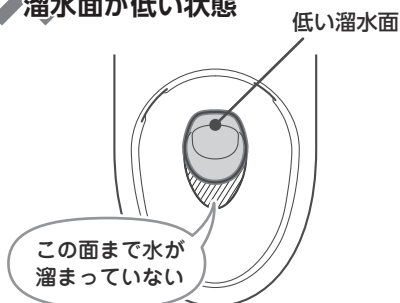
正常な状態



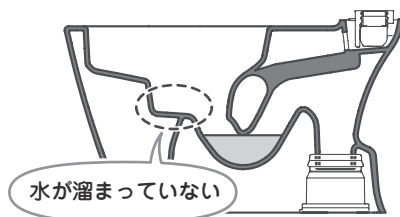
【便器断面図】



✕ 溜水面が低い状態



【便器断面図】



MEMO

- ・水を足しても溜水面が上がらない場合は正常な状態です。
- ・排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だと溜水面が低下する場合があります。

注意

- 2～3度水を流しても溜水面が低下する場合は、取扱店または当社支社やお客さま相談センターへ連絡してください。

止水栓の開け閉めのしかた



お願い

- 止水栓にあうマイナスドライバーを使用してください。
- 止水栓は必要以上に閉めすぎないでください。
止水栓のマイナス溝は樹脂製ですので、キズが付くおそれがあります。

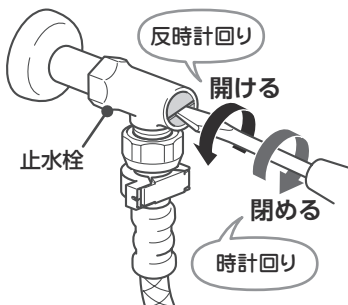
使用工具



マイナス
ドライバー

開けかた

- 1 止水栓を反時計回りに止まるまで回して全開にします。
- 2 固着防止のため、約 1/4 回転程度戻します。



閉めかた

- 1 止水栓を時計回りに止まるまで回します。

MEMO

- ・ 水抜方式の場合は、水抜栓で給水を止めてください。

断水したときの水の流しかた

動画で確認
できるよ！



- 1 便座・便フタを上げます。

- 2 バケツ 1 杯 (5 ~ 6L) の水を一気に流します。



注意

- バケツで水を運ぶとき、便器へ水を流すときなど、床に水がこぼれないように十分に気をつけてください。



新聞紙、ぞうきんなどを床に敷くと汚れ防止になります

3 溜水面が正常な状態になるように 1 ~ 2Lの水をゆっくりそそぎます。



お願い

- うまく汚物が流れないときは、より早く流し込みを行ってください。
- 排水管の途中に汚物が停滞することがあります。2 ~ 3 回の使用に 1 度は、バケツ 2 杯程度の水を流してください。
- ロータンクに直接水を入れないでください。



注意

電源プラグやコンセント
部分に水をかけない。
(感電・火災の原因)



禁止

便器のサイドカバーが外れてしまったとき

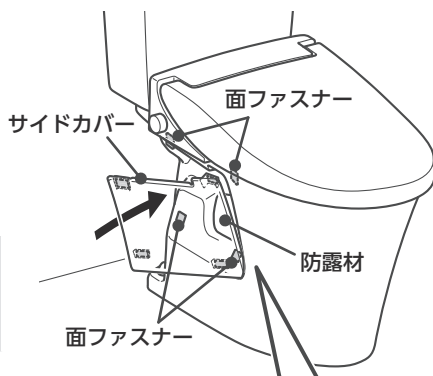
動画で確認
できるよ!



1 サイドカバーを便器に当て、隙間が目立たないように仮付けします。

2 サイドカバーの面ファスナー部を
しっかり押し付けて取り付けます。

3 面ファスナー部を軽く押して、取り
付いていることを確認します。



注意

防露材は取り外さない。
(結露して、床を濡らす原因)



禁止

正常な状態



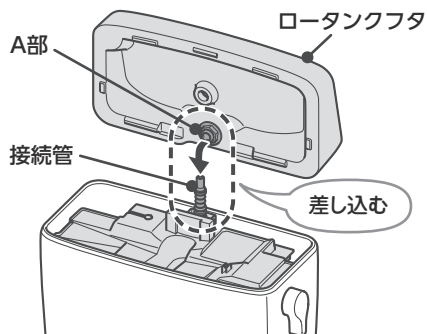
× しっかり取り付けしていない状態



※サイドカバーの形状、面ファスナーの位置は機種により異なります。

ロータンクフタを外してしまったとき (手洗付の場合)

右図 A 部に接続管を差し込み、
ロータンクフタを取り付けてください。



凍結しそうなとき

凍結によるロータンクや便器の破損を防ぐため、必ず室内を暖房してください。
また、「流動方式」および「ヒーター付便器／水抜方式併用」の場合、それぞれの処置をすることで、暖房を使用せずに凍結を防止することができます。

- ・ 流動方式の場合 ▶ P.24
- ・ 水抜方式の場合 ▶ P.25
- ・ ヒーター付便器の場合 ▶ P.26

なお、暖房を含めそれぞれの凍結防止の処置をしていただいても、右記の使用限界室温を外れると、凍結するおそれがありますので、暖房の温度を上げるか、暖房を併用するなどして使用限界室温以上に保ってください。

室内暖房を使用する場合	0℃
流動方式の場合	- 10℃
ヒーター付便器／水抜方式併用の場合	- 15℃

環境条件により使用限界温度が変わることがあります。

必要なときに

流動方式の場合

1 流動ダイヤルを時計回りに止まるまで回します。

2 約 1 分後に水が絶えず便器内に流れたことを確認します。



お願い

- 解除するには、流動ダイヤルを反時計回りに回してください。



水抜方式の場合

1 室内を暖房します。



MEMO

- ・ヒーター付便器併用の場合は室内暖房の必要はありません。

2 水抜栓を操作して給水を止めます。

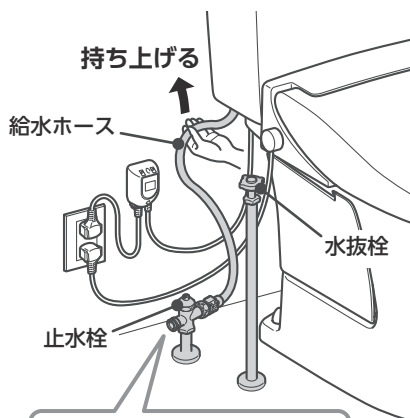


お願い

- 止水栓付便器の場合、止水栓は全開のままにしておいてください。

3 給水ホースを持ち上げ、ホース内の水を完全に抜きます。

【給水ホースがたるまない場合】
止水栓に付いた水抜栓を操作して
ホース内の水を抜きます。



【給水ホースがたるまない場合】



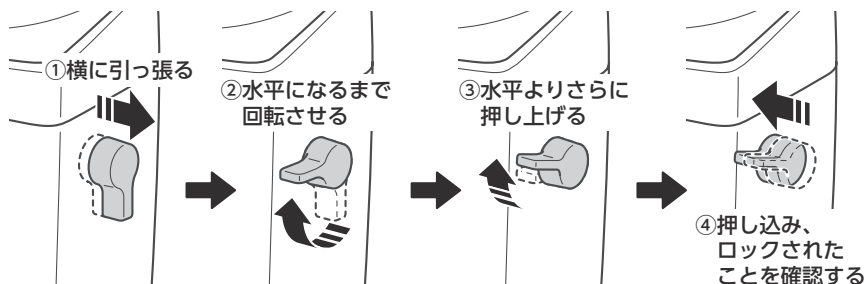
注意

止水栓に付いた水抜栓で水抜操作後はしっかり閉める。
(漏水し、室内浸水のおそれ)



指示実行

4 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内、配管内の水を抜きます。



5 水抜ダイヤルを時計回りに止まるまで回します。

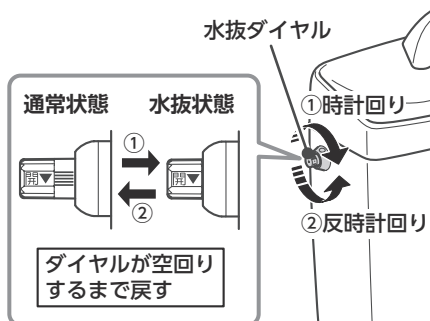
6 便器内に水が流れないことを確認します。

7 水抜ダイヤルを反時計回りに空回りするまで回して戻します。



お願い

- 再使用の際は、洗浄ハンドルの位置を垂直に戻し、水抜栓を操作して給水をしてから洗浄してください。
- 必ずロータンクへの給水を止めて水抜ダイヤルを操作してください。
右図の通り「水抜状態」になっていないと正常に水抜きが行えず、場合によってはロータンク内から音がすることがあります。



ヒーター付便器の場合

1 ヒーターの電源プラグをコンセントに差します。

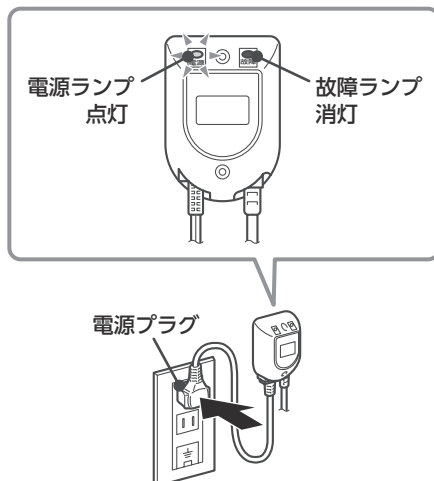
2 電源ランプが点灯、故障ランプが消灯していることを確認します。



注意

【故障ランプが点灯した場合】

- 電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターに修理を依頼してください。



必要なときに

長期間使用しないとき

長期間使用しない際に、便器の溜水が蒸発して封水切れが起こると、下水管から臭気や有毒ガス、腐食ガス、昆虫などがトイレに入り、家屋・建物、家財への損害や便器・設備機器の故障、健康被害を生じるおそれがあります。

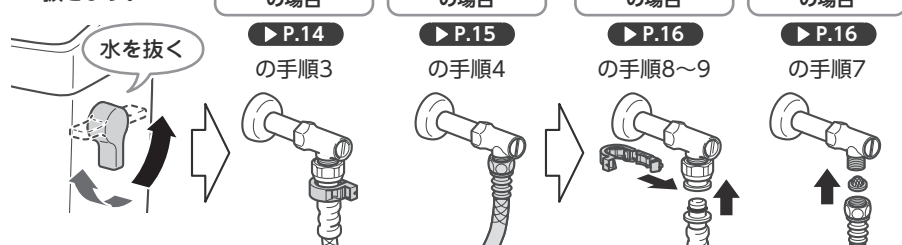
また、水が汚れて詰まったり、凍結したりするおそれがありますので、水抜きをしてください。

1 止水栓を閉め、コンセントから電源プラグを抜きます。▶P.22

2 ロータンク内と給水ホース内の水を完全に抜きます。 ※ロータンクの仕様により、水の抜き方が異なります。 ※水を受けるための容器を用意してください。

【水抜き方式以外の場合】

- ① 洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜きます。
- ② 止水栓から給水ホースを外し、給水ホース内の水を抜きます。
- ③ 給水ホースを止水栓に取り付けます。



【水抜き方式の場合】

- ① ▶P.25 の手順2~8を実施してください。

3 便器内の水をすべて抜き取り、大きなバスタオル等で便器の排水口をしっかりとふさぎます。

お願い

●再使用の際は、バスタオル等を取り除いてください。

MEMO

- ・凍結のおそれがある場合は、バスタオルの代わりに便器内に不凍液を入れることで、便器内の凍結を防止することもできます。
- また、不凍液を使用した場合は、そのまま流さず回収し、廃棄処理してください。そのまま流すと、浄化槽への悪影響や、環境汚染などの原因となります。

アフターサービスについて

1 修理を依頼される前に
「修理を依頼される前に」▶P.17の各項目を確認してください。

2 保証書と保証期間
保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取り付けた日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3 修理を依頼されるとき
お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターに修理を依頼してください。
(連絡先は次ページに記載)

〈保証期間中は〉

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定に従って修理させていただきます。

〈保証期間が過ぎているときは〉

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

〈修理料金は〉

- “技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

〈連絡していただきたい内容〉

- (1) ご住所、ご氏名、電話番号
- (2) 商品名
- (3) 型式番号 [商品に表示 (右図参照)]
- (4) ご購入日
- (5) 故障内容・異常の状況
- (6) 訪問ご希望日



4 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）を製造打切り後最低 10 年保有しています。この部品保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5 アフターサービス等についておわかりにならないとき

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センターへ

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間： 平日 9:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00

（ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始休み）

※ フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などでは、ご利用になれない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL : 0562-40-4050

FAX : 0562-40-4053

修理のご依頼は

LIXIL修理受付センターへ

■ WEBサイトからの修理依頼はこちら

※24時間依頼可能



リクシル修理

検索

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■ お電話でも修理を承ります

受付時間 9:00～19:00（年末年始休み）

TEL ☎ 0120-179-411

FAX ☎ 0120-179-456

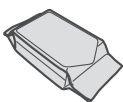
別売品のご案内

当社では、快適なトイレ空間作りのお手伝いとして、別売品を用意しております。
※別売品について詳しくお聞きになりたい方は、「お客さま相談センター」へお問い合わせください。▶P.29

別売品について（メンテナンス用品）

トイレ用おそうじティッシュ （品番：CWA-36-4SET）

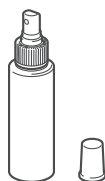
プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。
使用後、便器にそのまま流せます。



▶P.12

シャワートイレお掃除クリーナー （品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。



▶P.12

お掃除ブラシ（品番：CWA-48、CWA-48-A）

便器の表面を傷つけないブラシです。便鉢の裏まできれいに洗い落とせます。▶P.10

※ CWA-48-A はケースが付きません。



別売品の購入方法

直接、購入される場合

当社商品の販売店でお求めください。

宅配サービスを利用される場合

LIXIL ストア水まわり部品販売窓口へご連絡ください。
宅配サービスにてお届けいたします。（宅配サービスでは送料が別途必要となります。）

[ご注文フリーダイヤル]

電話番号 ☎ 0120-126-015

受付時間 9:00～17:00

（土日祝日、ゴールデンウィーク、夏季休暇、年末年始休み）

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。
下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

品名：W 節水洋風タンク密結便器		(品番：)	
保証期間：取付日より 2 ヶ年			
取付日：		年	月 日
お客さま	おなまえ	様	
おところ		おでんわ	
		() -	



無料修理規定（保証規定）

- 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
- 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、本書内にある「アフターサービス」に掲載の、LIXIL 修理受付センターにご相談ください。
- 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
 - 車両・船舶などで使用した場合の故障及び損傷
 - 施工説明書に指示する方法以外の工事または取付が原因で生じた故障及び損傷
 - 不当な使用や不注意・過失で生じた故障及び損傷
 - 掃除・維持管理上の不備による汚れ・さびなどによる不具合
 - 不当な修理・改造や取付後の移動を行ったことが原因で生じた故障及び損傷
 - 建物の柱・壁・床の変形（強度不足、ゆがみ）など、製品以外の不具合で生じた故障及び損傷
 - 消耗部品（パッキン・電池・電球など）の劣化
 - 公害やガス害（硫化水素ガスなど）、気象条件及び環境条件による現象（凍害・塩害・結露・染みだし・かびなど）、異常水圧・異常電磁波による故障及び損傷
 - 小動物（ねずみ・昆虫など）の行為によって生じた故障及び損傷
 - 火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 戦争・暴動などの破壊行為または犯罪などの不法行為によって生じた故障及び損傷
 - 温泉水・中水・井戸水などの水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことによって生じた故障及び損傷
 - 異物の配管内流入・水あか固着・排水の詰まりによって生じた故障及び損傷
 - 指定外の電源（電圧・周波数）によって生じた故障及び損傷
 - 保証書の期限切れ、または提示がない場合
 - 本書に品番・取付日・お客さまのお名まえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または本書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後最低 10 ヶ年です。

取扱店

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>
GAW-1087 (24034)